

## 平成30年度 経営発達支援事業報告と評価

### 評価基準

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)  
 B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)  
 C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)  
 D : 目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)  
 E : 未実施

### 1. 地域の経済動向に関する調査

・・・評価 **B**

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 企業景況調査	4回	4回	4回		A
(対象企業追加)	○	○	○		
(振興委員ヒアリング)	年3回	年2回	年4回	・3回実施	
(当所HP掲載)	○	○	○		
(調査項目追加)	○	○	○	・日商と共通とした	
(行政との情報交換)	○	○	○	・事案ごとに実施	
(2) 賃金調査 (2年に一回)	-	-	○		-
〃 (項目追加)	-	-	○	・2年に1回	
〃 (当所HP掲載)	-	-	○		
(3) 経営課題状況調査	○	×	-	実施せず。次年度実施を 予定	E

### 2. 経営状況の分析

・・・評価 **A**

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 広報PR活動	○	○	○	・事業承継PRチラシ 配布(1回)	A
(2) 簡易経営分析ツールの作成	-	-	-	・H28作成済 ・新システム導入検討	
(3) 専門家を活用した経営分析	○	○	○	・各種制度を活用 NICOカフェ、3回 事業引継ぎ支援セ ンター1回	A
(4) 経営分析実施数等					
巡回訪問相談件数	1,200件	669件	1,200件	・指導員による巡回	A
マル経融資利用者に対する 経営分析	10	18	10	・マル経推薦時の分析	
決算指導先からの経営分析	15	12	15	・分析ツールを活用	
セミナー参加者に対する 経営分析	15	15	15	・小規模事業者持続化 補助金申請支援7 ・事業承継計画策定支 援8	

### 3. 事業計画策定支援

・・・評価 B

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 経営戦略・経営計画策定 セミナー参加事業者数	20	26	20	・4/18 補助金活用ミナ ーを開催	A
(2) 創業者に対する策定支援 数	5	5	5	・指導員による対応	A
(3) マル経融資利用者に対す る策定支援	8	0	8		E
(4) 決算指導先からの経営分 析に対する策定支援	10	2	10	・指導員による対応	D
(5) セミナー参加者に対する 策定支援	12	13	12	・小規模事業者持続化 補助金申請支援 5 ・事業承継計画策定支 援 8	A

### 4. 事業計画策定後の実施支援

・・・評価 B

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 経営指導員による定期的 な巡回	○	△	○	・必要に応じ実施	C
(2) 支援施策の情報提供	○	○	○	・各種資料を持参	A
(3) 専門的な課題解決に向け た対応	○	○	○	・各種制度を活用 N I C O カフェ、	A
(4) 金融斡旋	○	○	○	・個別相談会の開催	A
(5) フォローアップ数等					B
経営戦略・経営計画策定セミナ ー参加事業者数	20	26	20	・補助金活用セミナー	
マル経融資利用者に対するフォ ロアップ事業所数	8	0	8		
決算指導先からの経営分析実施 者に対するフォローアップ事業 所数	12	2	10	・指導員による対応	
セミナー参加者に対するフォロ ーアップ事業所数	12	13	12		
創業者に対するフォローアップ 事業所数	5	5	5		

### 5. 需要動向調査

・・・評価 E

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 新潟県消費動向調査の 活用分析	○	×	○	・実施せず	E
(2) 十日町フェアでのアンケ ート回収	600	×	600	・H28 実施	E
(3) 十日町織物産地特別招 待会でのアンケート回収数	300	×	300	・H29 実施	E

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

・・・評価 B

内 容	30年度 目標	30年度 実績	31年度 目標	備 考	評価
(1) 十日町フェアでの地場産品コーナーへの出品事業者数	10	15	10	・クロスステンによる地場産コーナー展開	A
(2) 十日町織物産地特招会での体験ツアー設定事業所数	10	5	10	・流通事業者による工場見学、酒蔵見学	C
(3) まちゼミ					C
まちゼミ参加事業所数	30	23	30		
まちゼミ受講者数	450	234	450	・6月、11月に開催	
(4) 火焰型土器等の活用支援件数	5	7	5	・展示商談会への出展支援	A

7. 地域経済の活性化に資する取組

・・・評価 B

項 目	備 考	評価
(1) 中心市街地活性化基本計画に基づく賑わい創出のためのイベントの開催	・花いっぱい事業の実施 ・NPOにぎわいの事業支援	A
(2) 生誕地まつりでの経済波及効果の向上	・お買い物マップの作成	B
(3) 産業フェスタの開催	・産業発信フェアとして実施 ・22団体の参加。企業の紹介、PR、地域製品の展示販売 ・十葉町スイーツコーナー設置による菓子製造業者のPR	A
(4) 十日町雪まつり等を通じた交流人口の増加等による地域活性化	・JR十日町駅東口公園での広場開設。 ・魚沼産コシヒカリの1合パックの配布 ・地場産PRチラシの作成配布は実施せず。	B
(5) 大地の芸術祭を活用した商品の開発と販売	・地元菓子店6店が作家とコラボにて商品を製造、期間中販売 ・芸術祭の中心市街地への展開や運営の支援を実施	B
(6) 冬季スポーツ（ノルディックスキー）の大会誘致による経済波及効果の創出	・第56回全国中学校スキー大会クロスカントリー競技に3日間で延べ約5000名が来場 ・十日町紹介リーフレットの配布、朱鷺、着物、火焰型土器をモチーフとした雪像ステージを制作、表彰式を実施	B
(7) 十日町共通お土産用紙袋の制作	・実施せず	E

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの等の情報交換に関すること

・・・評価 B

項 目	備 考	評価
(1) 新潟県よろず支援拠点連絡会議	・新潟県よろず支援拠点連絡会議研修会に参加	A
(2) 新潟県中小企業支援プラットフォーム	・同上	A
(3) 新潟県商工会議所連合会における支援会議	・県連主催の専務理事会議、事務局長会議、相談所運営会議等に参加	A
(4) 中越地区指導業務連絡会議	・10/30 中越地区指導業務連絡会議・金融研修	A

	会に参加	
(5) 創業支援連絡会議	・実施せず	E
(6) 市内商工会・商工会議所小規模事業者支援連絡協議会	・11/29 税務連絡協議会として開催	B

#### 9. 経営指導員等の支援能力の向上の仕組み

・・・評価 **B**

項目	備考	評価
(1) 新潟県商工会議所連合会が主催する研修会への参加	・県連主催の各種研修会に、経営指導員等が参加	A
(2) 中越地区指導業務連絡協議会での研修	・10/30 中越地区指導業務連絡会議・金融研修会に参加	A
(3) 中小企業大学のセミナーへの参加	・参加せず	E
(4) 専門家との帯同訪問、相談	・経営計画策定個別相談会に経営指導員が同席し、専門家とともに支援	A

#### 10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

・・・評価 **C**

項目	備考	評価
(1) 所内への支援スキルの蓄積と共有化		C
支援事例・手法のデータベース化	・サーバーへ保存	
グループウェアを活用した支援情報の共有化	・業者と意見交換を実施	
(2) 支援体制の充実	・経営支援会議は毎月の指導員会議として実施 ・一般職員を含めた職員研修を開催	B

#### ○評価検討会での意見等

(6月4日開催 参加者：十日町市産業政策課、にいがた産業創造機構、日本政策金融公庫)

- ・各事業とも概ね成果を挙げていると評価できる。
- ・限られた人員体制で様々な事業を実施している。
- ・十日町産地特別招待会や十日町フェア、火焰型土器を活用した特産品の開発等、地域資源の活用も進んでいる。
- ・十日町市は何県のどこなのか、意外に知られていない。展示商談会の際はパンフレットや名刺などで明示することを心掛けてほしい。
- ・十日町は様々な地域資源があり大変面白い地域である。事業の材料が豊富でここでしかできない事業が多い。とおかまちビジネスコンテストなどでもユニークな事業が多い。ここでしかできない事業、創業を考え進めてほしい。
- ・マル経融資や金融相談会など、公庫と連携し事業を効率的に進めてほしい。
- ・市や関係機関と連携することで事業の効果が上がるので、関係機関との連携を更に強化し創業や第2創業、事業承継等様々な事業に取り組んでほしい。
- ・今後の方向性として、販路開拓事業をはじめとした会議所の事業に参加してくれる事業者を増やしていくことを心掛けてほしい。